

## 2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 1 月 19 日作成)

小委員会名	観光地リノベーション小委員会	主 査 名：佐野浩祥 就任年月：2023 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：野嶋慎二
設 置 期 間	2023 年 4 月 ～ 2027 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>コロナ禍や自然災害、戦争等の不測の事態に対して一定程度のレジリエンスを担保しながら、経済効果をはじめとする観光の地域への果実が空間的な改善につながるような持続可能な観光地域の形成を目指し、「観光地リノベーション」(既存観光地の漸進的改善)の計画論について検討する。すなわち、空白地帯に大きく投資するのではなく、共通したビジョンに向かって小さな投資を積み重ねながら観光空間を改善していこうとするものであり、これまで検討してきた地域観光プランニングの理念や手法を基軸に、いかに計画的介入が可能なか検討を行う。</p> <p>初年度：・「観光地リノベーションカレッジ」(9 月)(長門湯本予定) ・小委員会メンバーによる合同視察(時期未定) ・「観光地リノベーション」に関する事例調査・研究テーマの探索(通年)</p> <p>2 年度：・「観光地リノベーションカレッジ」(9 月)(場所未定) ・小委員会メンバーによる合同視察(時期未定) ・「観光地リノベーション」に関する事例調査(通年) ・若手研究者/観光事業者との連続公開研究会(通年)</p> <p>3 年度：・大会時の研究集会(8 月) ・「観光地リノベーションカレッジ」(9 月)(場所未定) ・小委員会メンバーによる合同視察(3 月) ・「観光地リノベーション」に関する計画手法検討(通年) ・若手研究者/観光事業者との連続公開研究会(通年)</p> <p>4 年度：・「観光地リノベーション」に関する図書の刊行 ・刊行図書を素材とした社会人向け講座の開催(5-8 月)</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：佐野浩祥(東洋大学) 幹事：永瀬節治(和歌山大学) 委員：岡村祐(東京都立大学)、西川亮(立教大学)、姫野由香(大分大学)、阿部大輔(龍谷大学)、益子智之(東京都立大学)、山島有喜(國學院大學)、麻生美希(同志社女子大学)、片岸将広(株式会社日本海コンサルタント)、森なおみ(株式会社インブリージョン)、渡邊高章(合同会社アーバンギークス)	
設置 WG (WG 名：目的)	「観光地リノベーション」アウトリーチ WG：前身の持続可能な観光地形成小委員会によって、理論化を試みた「地域観光プランニング」に加え、本小委員会が主眼とする「観光地リノベーション」をひろく普及し、発展的に議論することを活動目的とする。	
2023年度予算	220,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="https://aij-sustainable-destination.com/">https://aij-sustainable-destination.com/</a>

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	

<p>催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画</p>	
<p>大会研究集会</p>	
<p>対外的意見表明・パ ブリックコメント等</p>	
<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開催回数については予定通り実施できており、今後の計画も含めて順調に推移している。</li> <li>2. 学会大会オーガナイズドセッションを開催し、6題の発表をとりまとめ、観光地リノベーションの実態について広く議論した。</li> <li>3. 「観光地リノベーション」に関する事例報告を積み重ねることで、概念の精緻化、研究テーマの具体化が進んでいる。</li> </ol>
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 多忙や予算不足のため参加率の高くない委員会もあり、早めに日程調整するなど、計画的に進めていく必要がある。</li> <li>2. 「観光地リノベーション」という概念が新しく抽象的であるため、共通理解を深めながら、議論の質を高めていく必要がある。</li> </ol>